

週間漁海況情報 2025年第44号

令和7年11月4日発行

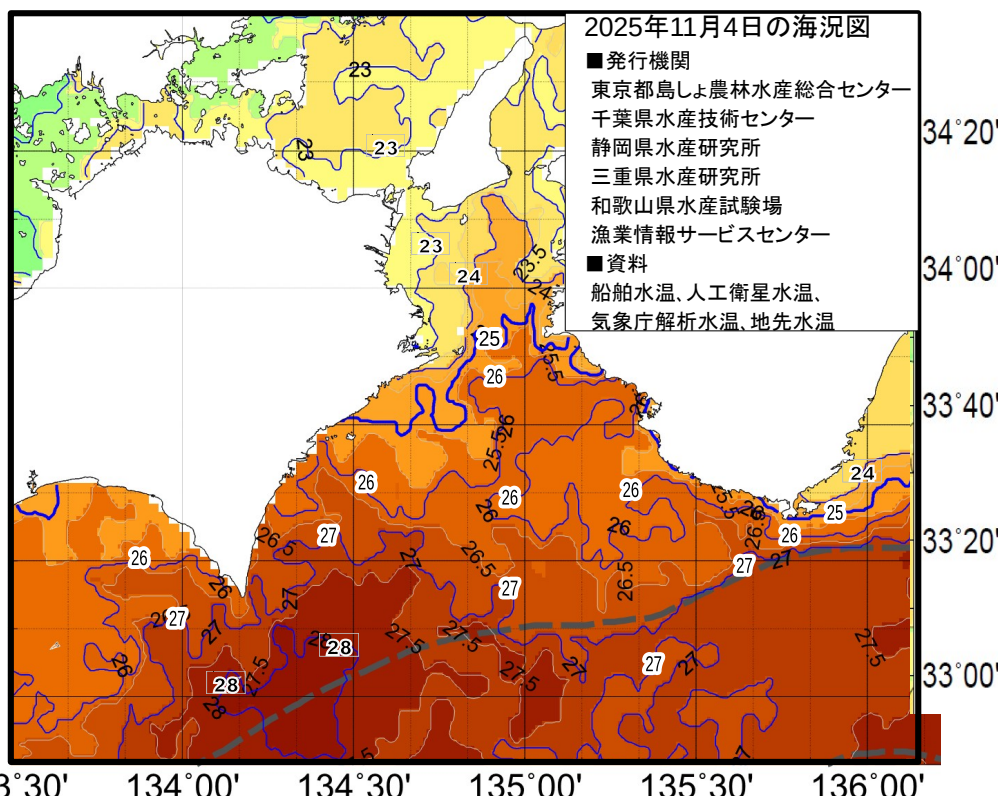
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で22～23、紀伊水道で22～24、海部沿岸で25～26℃台となっている。



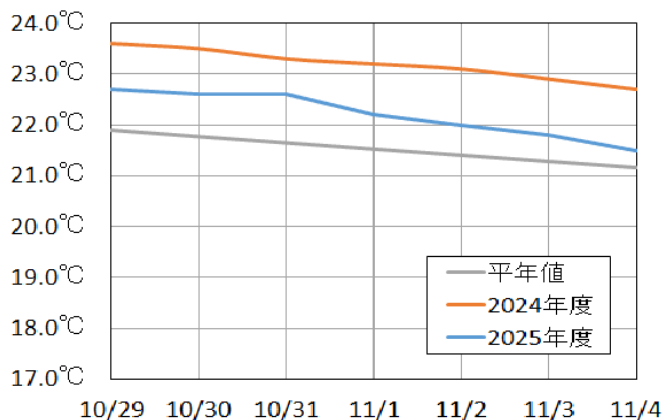
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸:～25NM やや離岸:25～45NM 離岸:45～65NM 著しく離岸:65NM～
潮岬沖 接岸:～26NM やや離岸:26～56NM 離岸:56～86NM 著しく離岸:86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

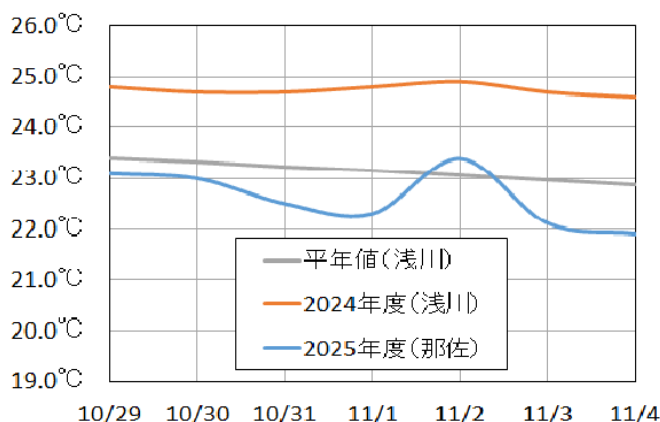
2. 地先水温(10月29日～11月4日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

鳴門地区の水温は、22.7～21.5℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。那佐地区は、23.4～21.9℃。鳴門と那佐地区の水温差は、-0.1～1.4℃だった。

鳴門地区



那佐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み:平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め:平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め:平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め:±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月5日～11月11日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (10月27日～11月2日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが56.8トン水揚げされた。

延縄では、サワラが6.9トン、あまだい類が増えて0.8トン水揚げされた。

底びき網では、えそ類が2.5トン、ハモが増えて中主体に1.6トン、

クマエビが大きく減って0.7トン、かます類が0.6トン水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.9トン、メジナが増えて0.3トン水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが大きく増えて0.8トン、マアジが減って豆あじ級主体に0.6トン、

マルアジが増えて小主体に0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：3)

小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて1.6トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	74	シラス	56,835	768		→
	延縄	91	サワラ	6,870	75		→
		46	あまだい類	837	18		↗
	底びき網	22	えそ類	2,539	115		→
		22	ハモ	1,598	73	中主体	↗
		22	クマエビ	728	33		↘↘
		21	かます類	570	27		→
	建網	139	カワハギ	949	7	大主体	↗
		68	メジナ	312	5		↗
	小型定置網	17	カンパチ	772	45		↗↗
		17	マアジ	602	35	豆あじ級主体	↘
		15	マルアジ	317	21	小主体	↗
沿岸部	小型定置網	7	ウルメイワシ	1,607	230		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘